

令和5年度
予算のポイント



「働くまち」から
「働いて暮らすまち」へ



大倉戸 IC から湖西バッテリーパークを結ぶバッテリーロード（令和5年夏頃開通予定）



令和5年2月
湖西市

1. 予算編成の基本姿勢と概要

令和5年度予算は、50周年を機にスタートした事業が、未来の子どもたちに繋がるよう、4本の柱を中心に、中長期的な事業も着実に進め、『働くまちから働いて暮らすまちへ「**職住近接**」』による、持続可能なまちづくりを目指します。

《4つの柱》

① 「安全・安心、医療福祉」

湖西病院と浜松医療センターの連携協定による、医師の確保や看護師の育成、高度急性期医療と回復期リハビリなど役割分担による質の高い医療、助産師派遣による産前産後健診の充実といった、医療体制の強化

② 「子育て・教育の充実」

「育ちの応援ステーション」の拡充による、産後ケア・相談事業の充実や、発達に課題がある児童とその家族に対する相談支援機能を付加した、新たな施設の設置

③ 「産業振興」

次世代の車載用電池の一大生産拠点となる「湖西バッテリーパーク」へ接続する「バッテリーロード」の整備・開通や、地元のモノづくり企業と連携した脱臭装置・自動噴霧センサーの活用による、臭気低減と畜産の振興の両立

④ 「観光・シティプロモーション」

新居弁天地域の再整備により、年間を通して、さらなる賑わいを生み出し、舟運や地元特産品マルシェなど、地域一体となった観光誘客

《中長期的・横断的な施策》

- ・モノづくり人材育成と産業ネットワークの構築
- ・土地利活用の一体的推進
- ・カーボンニュートラルの推進
- ・DXの推進
- ・広域連携（医療連携体制の強化、企業シャトルBaaS、水道料金収納業務等共同化）

《予算の規模》

一般会計 R5：262億円 2年連続で過去最高を更新

（前年度当初予算比 +13.2億円、+5.3%）
（R4：248.8億円）

予算総額 R5：457.5億円

（前年度当初予算比 +18.1億円、+4.1%）
（R4：439.4億円）

《参考》 将来を見据えた財源確保

○限られた財源を有効活用

残高を意識した財政調整基金の繰り入れ

繰入額：R4：当初13.2億円 → R5：8.8億円（▲4.4億円）

残高見込：R3末：36.5億円 → R4末：35.0億円 → R5末：31.2億円

○市債（借金）の計画的な発行

大型建設事業に対応するため市債を発行

発行予定：R4：当初22.7億円（最終22.4億円） → R5：27.4億円（+4.7億円）

残高見込：R4末：180.6億円 → R5末：194.8億円（+14.2億円）

目玉事業



医療連携体制の強化（①）

2,069万円

湖西病院と浜松医療センターの連携協定により、①医師の確保や看護師の育成、②高度急性期医療と回復期リハビリなど病院間の機能分化による質の高い医療、③助産師派遣による産前産後検診の充実、といった取り組みを行います。

また、湖西病院、浜名病院、浜名医師会、市内各クリニック、市及び消防本部が連携し、救急医療体制の構築や各医療機関の役割分担等を明確化します。

これらの取り組みにより市内外の医療連携体制を強化し、持続可能な地域医療提供体制を構築していきます。



子育てにやさしいまちづくりの推進（②）

5億6,529万円

子育て支援施策の推進体制を強化するため、新たに「こども未来部」を新設し、育ちの応援ステーションの取り組みを拡充します。具体的には、①新所幼稚園跡を、発達に課題がある児童とその家族に対する発達相談支援の拠点として有効活用するため整備、②産前産後に向けた相談の拡充と現金給付による支援、③のびのび預かり事業の対象年齢を2歳児から1歳児に拡大、④妊娠出産時にホームヘルパーを利用した際の費用援助、⑤放課後児童クラブや各教育施設の整備、などを行います。



新たな観光拠点の整備（④）

令和5年度補正予定

新居弁天公園を年間を通して更なる賑わいが生まれ、市内外から人が集う魅力のある観光拠点へと再整備をします。具体的には、①イベントマルシェエリア、②キャンプエリア、③ドッグランエリアなどを整備することを計画し、地域が一体となった観光誘客に取り組むことで、市の観光ブランド力の一層の強化を図ります。



スポーツによる地域活性化（②）

528万円

学校部活動の地域移行に向け、地域の実態の調査・研究を行います。

また、これを契機にスポーツによる地域活性化を進めるため、①ジュニアスポーツクラブ参加費の補助拡充、②プロスポーツ団体等と連携した観戦応援機会の提供や栄養講座及び親子体験教室を実施し、市民がスポーツを「する」「観る」「支える」ことをテーマとしたビルドアップを行います。



水道スマートメーターの市内全域化（横断的施策②） 1億1,578万円

市内全域の量水器を令和9年度までにスマートメーターへ変更し、デジタル化に伴う検針業務の効率化・合理化、時間帯別料金体系の検証を進めます。

また、検針結果のお知らせについて、市内全域を対象に紙からSMS（ショートメッセージサービス）によるお知らせへのデジタル化を推進します。



モノづくり人材の育成と産業ネットワークの構築（③） 4億7,503万円

ゼロカーボンシティの実現に向けて（横断的施策①）

5,374万円

令和5年度の重点施策

① 安全・安心、医療福祉

項目	主な内容	予算額	所管
1 医療連携体制の強化	<p>湖西病院と浜松医療センターの連携協定により、①医師の確保や看護師の育成、②高度急性期医療と回復期リハビリなど病院間の機能分化による質の高い医療、③助産師派遣による産前産後検診の充実、といった取り組みを行います。</p> <p>また、湖西病院、浜名病院、浜名医師会、市内各クリニック、市及び消防本部が連携し、救急医療体制の構築や各医療機関の役割分担等を明確化します。</p> <p>これらの取り組みにより市内外の医療連携体制を強化し、持続可能な地域医療提供体制を構築していきます。</p>	2,069 万円	健康増進課 湖西病院
2 津波防災対策	<p>津波への対策として、海釣公園防潮堤の整備及び津波防災地域づくり推進計画を策定します。</p> <p>また、災害等による停電の際、医療機器に使用できるリチウムイオン蓄電装置を新たに配備します。</p>	9,157 万円	危機管理課 地域福祉課
3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取り組み	<p>重症化予防対策として新たに医療専門職(保健師等)を配置し、医療機関等との調整や健診の実施のほか、「健診」「医療費」「介護」の各種データの分析を行い、趣味活動やいきいきサロンなどの「通いの場」への積極的な関与や個別的支援を実施します。</p>	327 万円	健康増進課 高齢者福祉課 保険年金課
4 帯状疱疹ワクチンの補助拡大	<p>近年増加傾向にある帯状疱疹に関して、ワクチン接種費用の一部を補助する制度を新たに開始します。</p> <p>そのほか、①子宮頸がんワクチン接種のキャッチアップ、②新型コロナウイルス対策、など引き続き疾病対策にも万全を期します。</p>	3 億 5,269 万円	健康増進課 子ども家庭課
5 環境センターの再稼働とアメニティプラザ余熱利用	<p>ごみ焼却施設の再稼働工事とリサイクルプラザの長寿命化工事を行い、ごみの焼却を令和6年2月より再開します。</p> <p>また、ごみ焼却の余熱を隣接するアメニティプラザの温水プール等に利用できるよう改良工事を行います。</p>	30 億 5,306 万円	廃棄物対策課



② 子育て・教育の充実

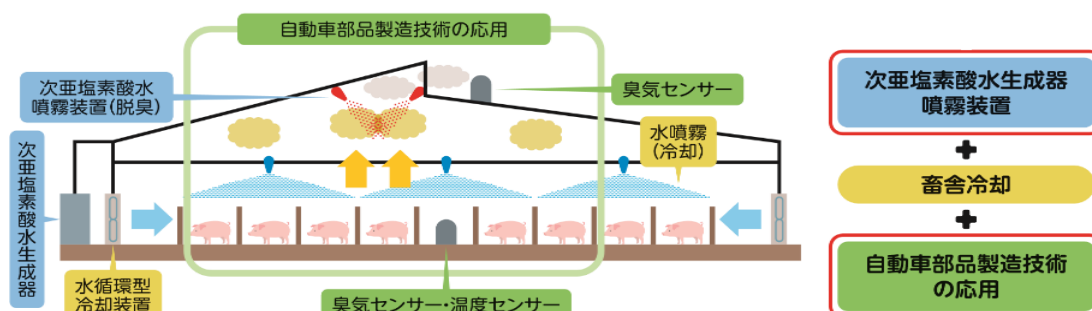
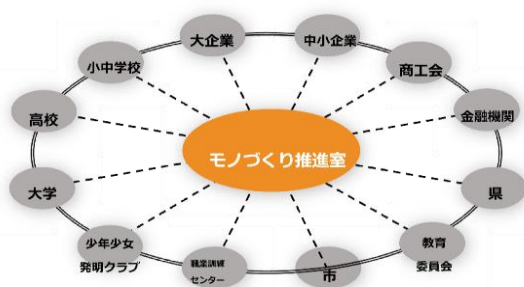
項目	主な内容	予算額	所管
1	新たな地域子育て支援拠点の設置	370 万円	子ども家庭課
2	産前産後に向けた相談の拡充と現金給付による支援	3,958 万円	子ども家庭課
3	のびのび預かり事業の対象年齢拡大	264 万円	子ども家庭課
4	ホームヘルパー等利用者への補助	70 万円	子ども家庭課
5	教育施設的环境整備	5 億 1,867 万円	教育総務課
6	スポーツによる地域活性化	528 万円	スポーツ・生涯学習課 学校教育課



③ 産業振興

項目	主な内容	予算額	所管
1 モノづくり人材の育成と産業ネットワークの構築	<p>市内のモノづくり産業の持続的な発展のため、人材育成と企業支援を一体的に進める産業ネットワークを構築します。</p> <p>①子どもたちのモノづくりに触れる機会の創出（工場見学や出前講座、イベント開催等） ②湖西高校・新居高校を対象とした就職イベントの開催 ③ダイバーシティマネジメントセミナーの実施 ④中小企業向けにITツール導入費用の一部を補助 ⑤工場の新設等をする企業に対する奨励金支援</p>	4億7,503万円	産業振興課
2 「佐吉の郷」スタートアップ支援事業	<p>豊田佐吉翁のふるさととして、創業支援を実施します。具体的には、空き店舗等を活用した創業支援、クラウドファンディング手数料補助、女性活躍のための再就職・起業支援などを行います。</p>	1,047万円	産業振興課
3 畜産臭気対策	<p>次亜塩素酸水による脱臭と水噴霧冷却を自動で行う脱臭システムを、民間企業や県と共同で構築します。</p> <p>また、部局横断的に組織された臭気対策チームによる臭気の測定や分析、臭気対策に係る経費の補助・周知など積極的に取り組みます。</p>	1,670万円	環境課 産業振興課

モノづくり産業ネットワーク（イメージ）



項目	主な内容	予算額	所管
4	湖西バッテリーパーク・バッテリーロードの整備の推進	(R5 年度当初分) 8,382 万円 (R4 年度補正分) 3 億 7,350 万円	都市計画課 土木課
5	土地利活用の一体的推進	(R5 年度当初分) 9,435 万円 (R4 年度補正分) 6,287 万円	都市計画課

湖西バッテリーパークの様子(令和4年11月時点)



④ 観光・シティプロモーション

項目	主な内容	予算額	所管
1 新たな観光拠点の整備	新居弁天公園を年間を通して更なる賑わいが生まれ、市内外から人が集う魅力のある観光拠点へと再整備をします。具体的には、①イベントマルシェエリア、②キャンプエリア、③ドッグランエリアなどを整備することを計画し、地域が一体となった観光誘客に取り組むことで、市の観光ブランド力の一層の強化を図ります。	— ※令和5年度 補正対応	文化観光課
2 シティプロモーション	ご当地グルメプロジェクト「こさいの豚肉」のメニュー化を進め、P1グランプリを開催します。また、公式コミュニケーションキャラクター「うなぼん」を運用し、湖西市の知名度向上を図ります。 そのほか、広報戦略アドバイザーと連携した取り組みや、「地域おこし協力隊」等による各種SNSなどを活用した魅力発信を行います。	886万円	企画政策課 秘書広報課 文化観光課
3 新居地域センターの リニューアル	文化芸術、社会教育、自治活動等の振興を図るため、市民にとって使い勝手の良いバリアフリー化を含めた改修を進めます。	3億7,972万円	新居支所

新居弁天公園再整備事業 対象区域図



湖西市公式コミュニケーションキャラクター
うなぼん



こさいの豚肉

横断的施策① ゼロカーボンシティの実現に向けて

環境と経済の好循環による持続可能なまちづくりと「職住近接」を実現するため、湖西市版ゼロカーボンシティを目指します。

項目	主な内容	予算額	所管
1 省エネルギー化に向けた中小企業支援	原油価格・物価高騰等に伴い、光熱水費の負担が増加している中小企業者等の省エネ設備の導入支援及びカーボンニュートラルの推進を図ります。 また、省エネ診断・分析に要した費用を補助するとともに、更なる支援策の拡充を検討します。	(R5 年度当初分) 32 万円 (R4 年度補正分) 3,677 万円	環境課
2 地球温暖化対策	環境と産業の持続可能な未来を実現するため、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定します。 また、CO2 削減のため市内小学生を対象に環境教育(アースキッズ)事業を行います。	642 万円	環境課
3 脱炭素化促進設備等の普及促進	個人向けの低公害車(電気自動車など)に加え、新たに事業者向けの低公害車導入支援を行います。 また、①家庭用コージェネレーションシステム、②家庭用蓄電池、③V2H(電気自動車に蓄えた電気を家庭で利用するシステム)の導入支援も引き続き行います。	610 万円	環境課
4 行政におけるゼロカーボン化	既存の公共施設及び今後新設する公共施設において、再生可能エネルギー設備及びPPAモデルの導入に向けた企業との連携を積極的に行います。 また、公用車への電気自動車の導入拡大、健康福祉センター(おぼと)内やみなと運動公園など公共施設の LED 化を図り、省エネルギー化に取り組みます。	413 万円	環境課 資産経営課
合 計		5,374 万円	—

環境と産業の持続可能な未来を実現する

湖西市版 ゼロカーボンシティ宣言

- ①省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及
住宅等の省エネ化の推奨、太陽光発電等の普及
- ②「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援
太陽光発電導入等の推進、脱炭素経営への支援
- ③オール湖西による脱炭素型社会の形成に向けた、地球温暖化に対する意識啓発
ゼロカーボン講座やイベント、環境学習の開催
- ④行政におけるゼロカーボン化の推進
・地域マイクログリッドの構築 ・公用車の次世代自動車化、太陽光発電等の導入



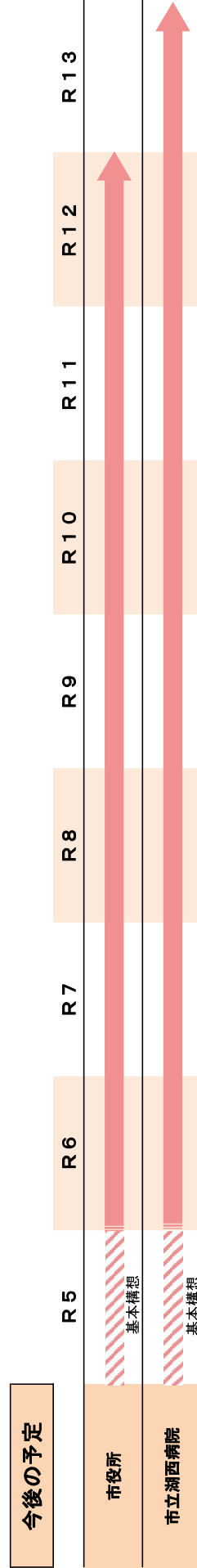
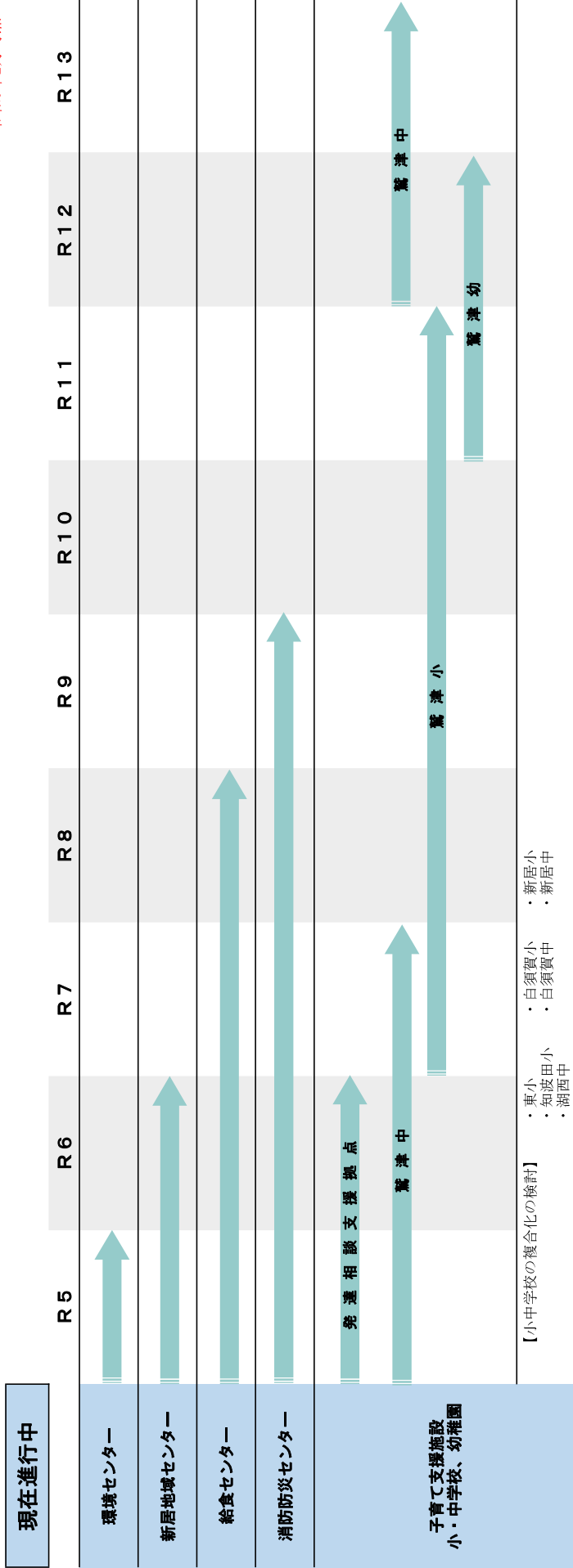
横断的施策② DXの推進

デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進により、今後の社会変革への対応や人口減少対策、産業の活性化などの地域課題の解決を図り、「職住近接」の実現と持続可能なまちづくりを目指します。

項目	主な内容	予算額	所管
〈市民向けサービスのDXの推進〉		1億1,881万円	
1	水道スマートメーターの市内全域化	市内全域の量水器を令和9年度までにスマートメーターへ変更し、デジタル化に伴う検針業務の効率化・合理化、時間帯別料金体系の検証を進めます。 また、検針結果のお知らせについて、市内全域を対象に紙からSMS(ショートメッセージサービス)によるお知らせへのデジタル化を推進します。	1億1,578万円 水道課
2	「行かない・書かない市役所」の実現に向けて	多様な手続きに対応するため、個人認証や決済機能に加えマイナポータル連携などの機能拡張を図り、「行かない・書かない市役所」実現に向けた行政手続きのオンライン化を一層推進します。	303万円 DX推進課
〈行政運営のDX推進〉		3,581万円	
3	ICTを活用した内部業務の改善	ICTを活用し、行政における内部業務の改善を行います。 ①行政チャットなどのICTツールを業務に新たに導入し、市役所の内部事務の一層の効率化を図ります。 ②マイナンバーカードを活用した職員の出退勤管理システムを新たに導入します。 ③AI技術やRPAの利用を引き続き促進し、作業時間の短縮を図ります。 ④令和7年度末に向けた基幹情報システムの標準化・共通化に向け、システム移行の準備を進めます。	3,581万円 DX推進課 総務課
〈DXを実現するための環境整備〉		333万円	
4	デジタルデバйд対策の拡充	電子申請などのデジタルサービスを、市民の皆様が誰でも利用していただけのように、これまでのスマホ教室開催に加え、郵便局窓口でスマホの操作支援を行う新たな取り組みを実施します。	113万円 DX推進課
5	オープンデータの利活用推進	官民共創によるオープンデータ利活用のための取り組みへ参加し、当市データのオープン化促進と、データの有効活用のノウハウを蓄積し、今後の施策立案などに役立てていきます。	220万円 DX推進課

横断的施策③ 公共施設の再編計画（概要）

令和5年2月時点



R10 ~ R20

にざわい創出のため
右の機能を持つ
後施設の検討

- ・新居地域センター(ホール・会議室)
- ・子育て支援センター(のびりん)
- ・老人福祉センター